

【保健環境研究センター12月だより ～季節はずれのRSウイルス感染症流行～】

・RSウイルス感染症とは

RSウイルス感染症は、RSウイルス(Respiratory syncytial virus)を原因とするカゼ様疾患です。年齢を問わずに感染しますが、特に乳幼児で気管支炎や肺炎を引き起こすことが知られています。主な感染経路は、咳による飛沫感染と、汚染された手指やモノを介した接触感染です。我が国では、通常11月から1月の冬季に流行します。感染症法で定点把握対象の5類感染症に指定されており、患者発生動向が全国的に週単位で調べられています。



・季節はずれの流行

冬季に流行するRSウイルス感染症ですが、今年は全国的に6月下旬から報告数が増加し始め、8月には流行季と同程度の患者報告がありました。そのため、国立感染症研究所は大きな流行のおそれがあるとして注意を呼びかけました。奈良県でも、8月下旬から定点医療機関からの報告数の増加がみられましたが、病原体サーベイランスの対象疾患ではないため、ウイルス分離は行われていませんでした。しかし、ウイルスチームでは上気道炎や下気道炎症状および発熱がみられた患者検体を選び出し、あらためてRSウイルスの遺伝子検査を実施しました。その結果、12例からRSウイルスが検出され、奈良県での流行を裏付けることができました(図、表)。患者の年齢は1歳0ヶ月から3歳5ヶ月で、性別に偏りは見られず、38.0℃から40.0℃の高い発熱が特徴的でした。

検体数

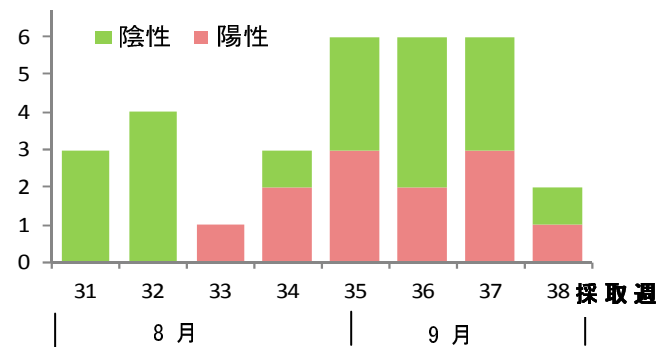


図. 奈良県における採取週別RSウイルス検出状況(2011)
(保健環境研究センター資料)

表. RSウイルスが検出された症例(2011)

採取日	年齢	発熱(℃)	流行状況
8月17日	2歳3ヶ月	38.7	保育所
8月25日	1歳0ヶ月	38.9	保育所
8月26日	1歳8ヶ月	39.7	保育所
8月29日	2歳0ヶ月	40.0	保育所
8月31日	3歳0ヶ月	39.6	保育所
9月1日	2歳4ヶ月	39.6	保育所
9月7日	1歳0ヶ月	39.3	保育所
9月7日	2歳9ヶ月	38.3	保育所
9月15日	3歳4ヶ月	38.6	保育所
9月15日	3歳5ヶ月	38.9	幼稚園
9月16日	1歳5ヶ月	38.0	家族内
9月22日	1歳2ヶ月	39.0	散発

(保健環境研究センター資料)

・本格的なシーズンに備えて



RSウイルス感染症は、これから本格的な流行季を迎えます。この病気は、接触が濃厚な保育所や家庭内での感染が多く見られます。今のところ有効なワクチンや特効薬はありません。乳幼児がいる家庭では、手洗い、うがいなどの予防策を心がけてください。

(ウイルスチーム 井上 記)